



## TPP参加を巡って

TPP参加をめぐる民主党は「交渉参加については慎重に判断すべき」と提言。これを編集中の10日、野田首相はTPPについて11日表明とか。

### TPPのテーブルは？

現状は「さあ、これからTPPを話そう。日本も来てね」という状態ではない。テーブルに着くにはTPP参加国の承認が必要。牛肉の輸入、医療保険、農作物輸入等々の自由化を訴える米議会の承認がないとオバマも「日本にどうぞ」とは云えない。米国の要求を呑んで初めてテーブルに着けるのだ。

### 農産物自由化では

田畑の狭い日本で自由化されたら日本の農業は崩壊。大量の農民

が失業し、農村社会は崩壊。そして農作物は米国等から輸入。その時、凶作になったら、日本は農作物を輸入できるのか？カネで出来るかも知れないが、そうになると、貧しい国は飢えることになる。又、その米国では大規模な灌漑で農地に塩害が広がっている。農地が荒廃し、農作物が出来なくなったら、地球規模の環境悪化になる。

### 牛肉は？

日本ではBSE対策で全ての牛の出生から消費されるまでトレーサビリティを作った。それで、セシウム牛がどこの給食に使われたか分かった。でも、米国では年齢さえ管理していない。(安い訳だ) 大変なことになると思いますが、皆さんはどう思われますか？

## 大堰 (山形県金山町)

かねやま



山形県北東部の金山町。英国人女性旅行家イザベラ・バードが明治11年に訪れ「日本奥地紀行」に「ピラミッド型の丘陵が半円を描き、ロマンチックな雰囲気の町」と書いている。

町の中心部に農業用水路「金山大堰」がある。戦国時代に作られ、一九六〇年代までは生活用水としても使われていたそうだ。春から秋に鯉二五〇匹が放流され、冬は雪を流す為に用いられるとか。

一九八四年「街並みづくり百年運動」が提唱され、ゆつくりと美しい景観づくりが続いている。黒い柱、黒っぽい板壁の建物は、町の景観保護によるもの。大堰の前のベンチでは鯉の群れを見ながら語り合う姿が見られた。